

ノリ養殖環境速報 KH-01-03 (播磨灘)

令和元年11月21日 発行

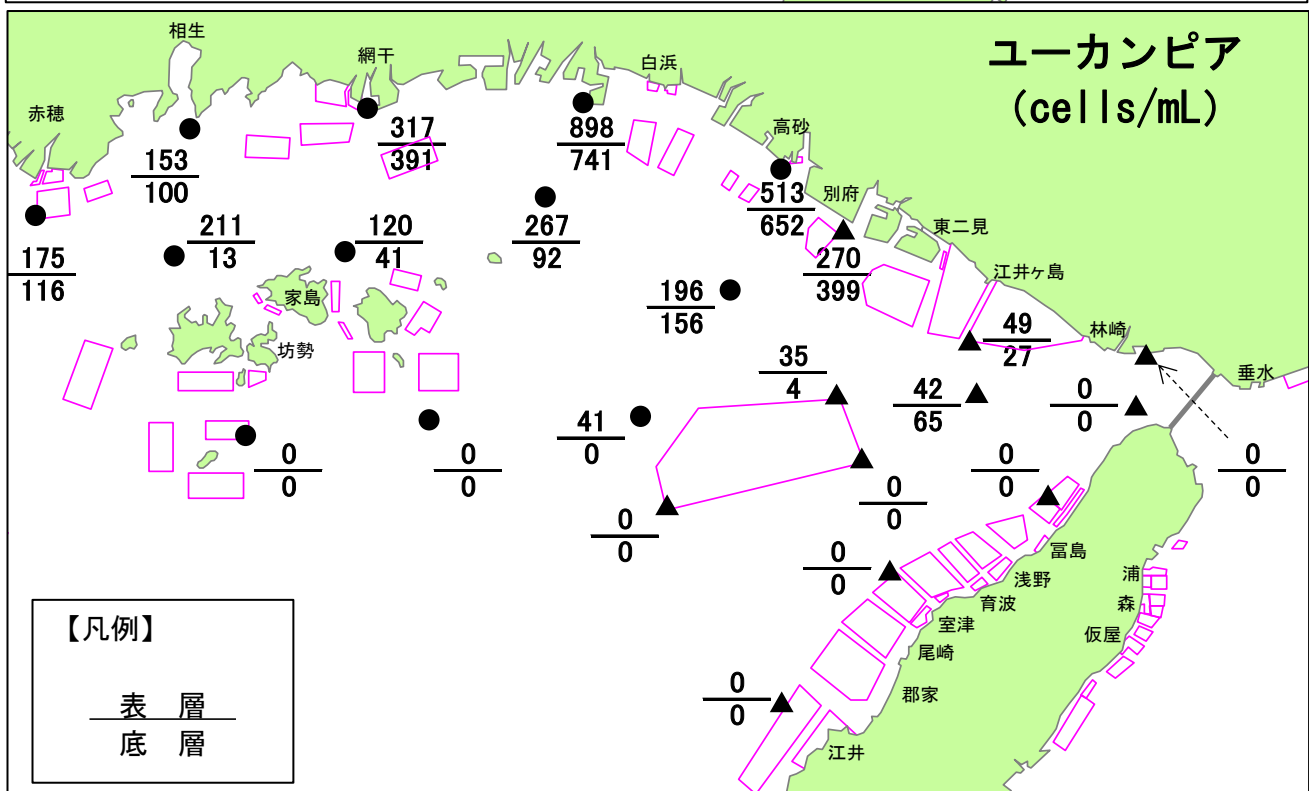
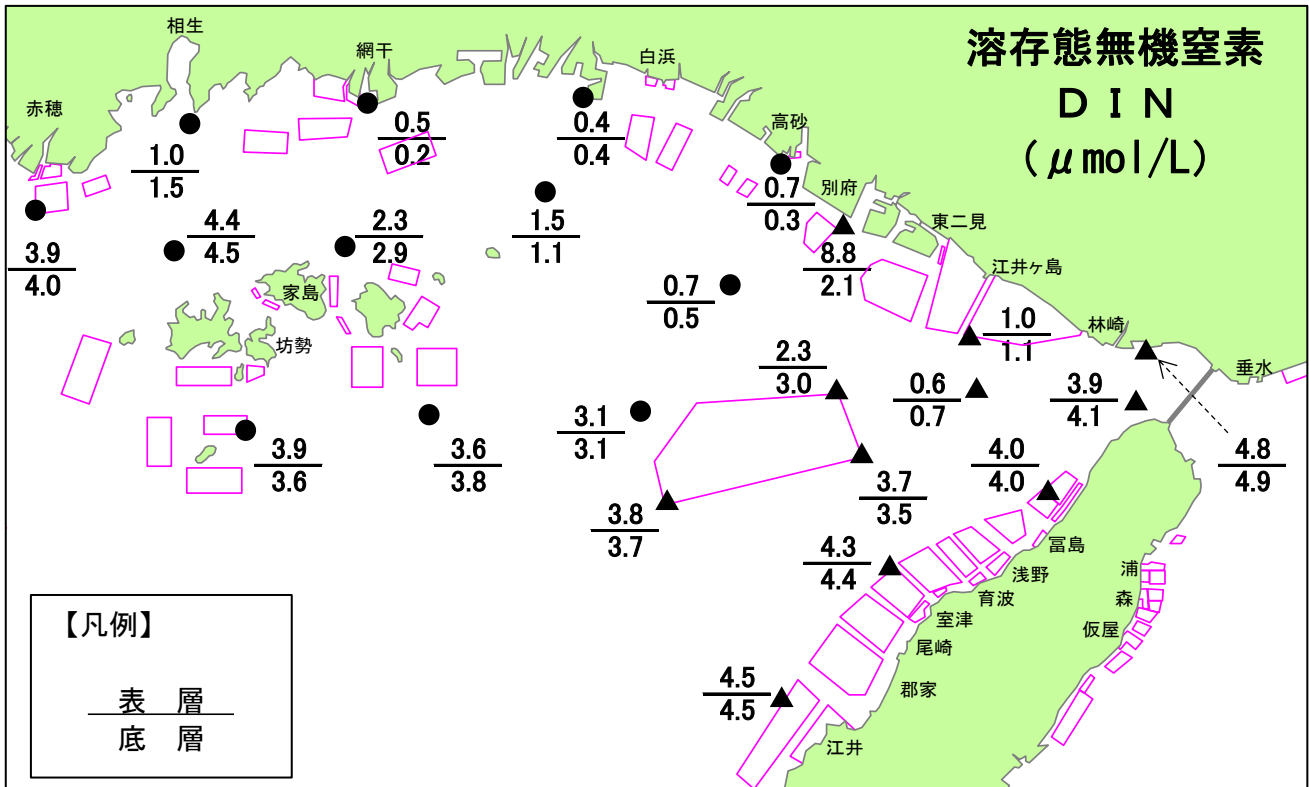
調査年月日：令和元年11月20日

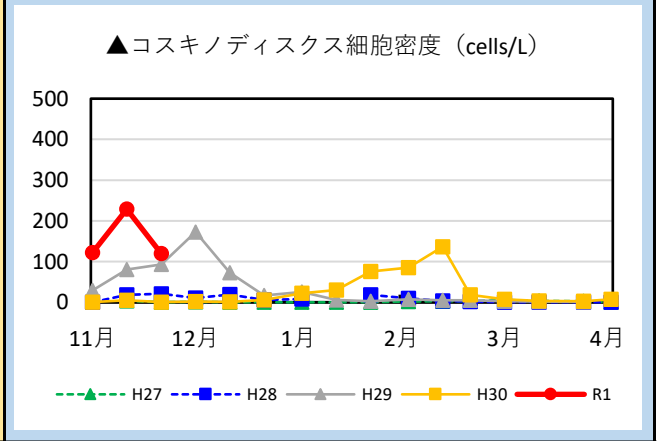
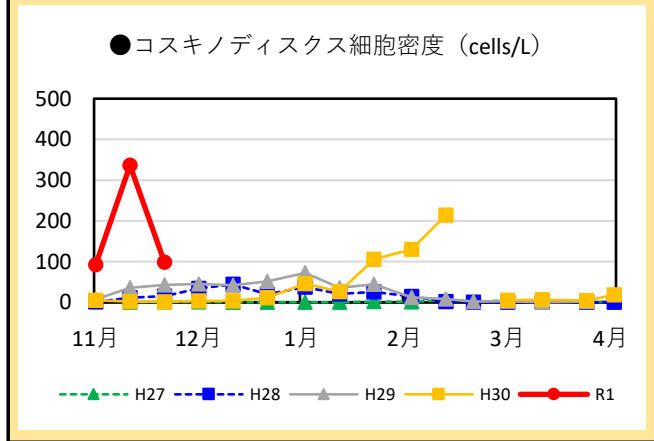
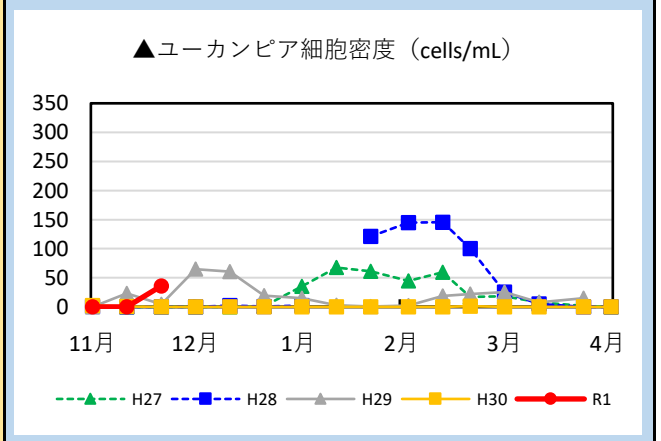
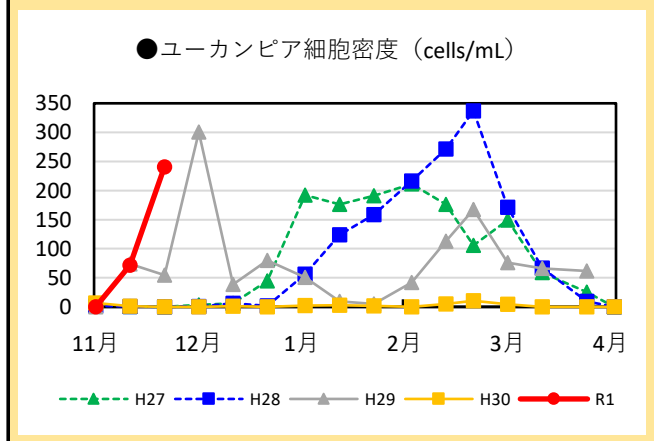
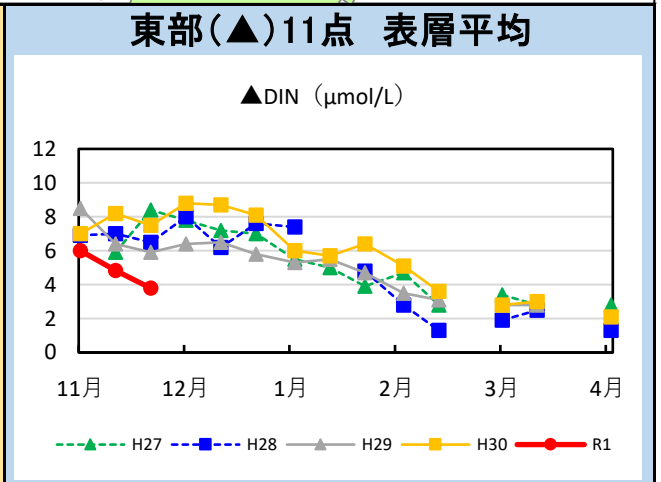
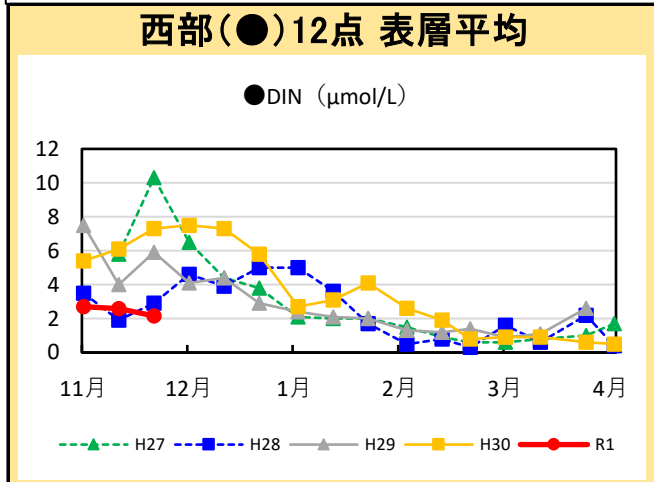
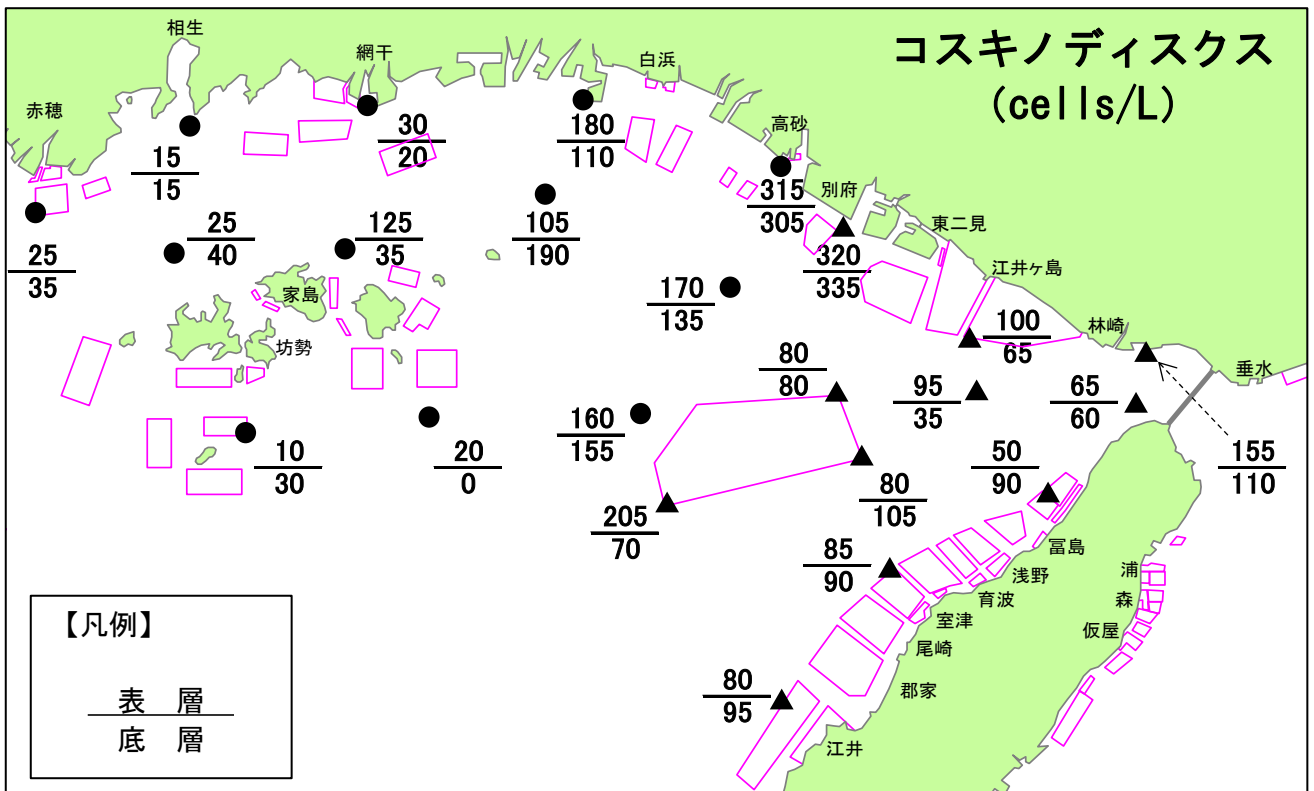
〔調査箇所は地図上に●（西部）および▲（東部）印で表示しています。〕

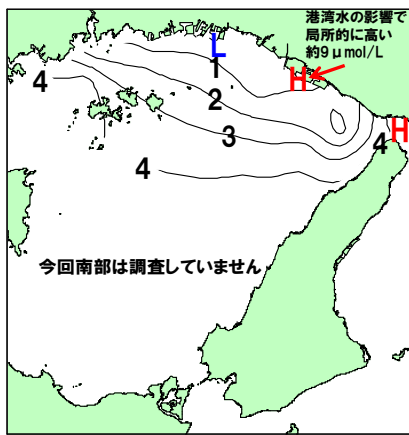
概況

播磨灘北部（調査海域）の表層DIN濃度は、西部では0.4～4.4 $\mu\text{mol/L}$ の間、東部では0.6～8.8 $\mu\text{mol/L}$ の間で推移しています。北部沿岸域ではユーカンピアやコスキノディスクスが多く発生している影響もあり、DIN濃度が低下しています。これらの大型珪藻類のうちユーカンピアは、今後さらに増加したり分布域を拡大する可能性もありますので、今後の動向にはご注意ください。

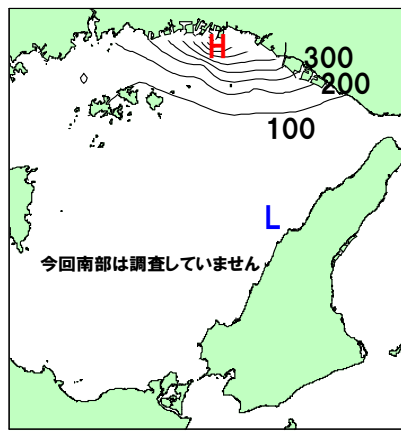
水温は、白浜以西では17.3～18.7 $^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では18.6～20.0 $^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で18.4～19.5 $^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では19.4～19.8 $^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では18.9～19.7 $^{\circ}\text{C}$ でした。



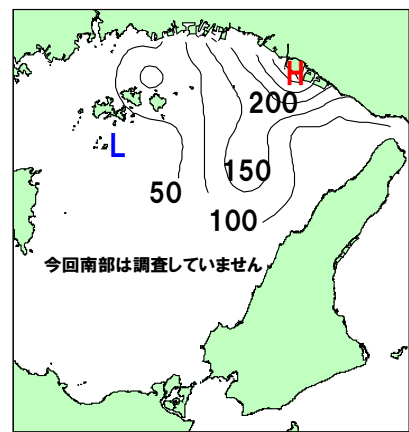




DIN濃度(μmol/L)



ユーカンピア(cells/mL)



コスキノディスクス(cells/L)

令和元年11月12日の水平分布状況(表層、実測値)

(Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています。)

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

表層のDIN濃度は、大型珪藻類発生の影響もあり播磨灘北部沿岸で低い状況です。沖合域や淡路島西岸では、概ね3μmol/L以上となっています。ユーカンピアは高砂以西の北部沿岸で多く確認されており、増加傾向にありますので、今後の動向に注意が必要です。また、大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーは、減少傾向にあります。播磨灘全域で確認されています。

降水量は平年並みとされていますが、珪藻類の発生状況(特にユーカンピア)によっては、DIN濃度の低い状況が続く可能性もありますので十分ご注意ください。

週間天気予報 気象庁11月20日10時32分発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間の近畿地方は、北部では気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすく、期間の後半は雨の降る日があるでしょう。中部や南部では、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、気圧の谷や湿った空の影響で雲が広がりやすく、期間の中頃は雨の降る日がある見込みです。

最高気温、最低気温はともに、平年並か平年より高く、期間の中頃にかけて平年よりかなり高い日があるでしょう。

降水量は、平年並の見込みです。

その他の情報

- 岡山県の情報は11/14に、香川県の情報は11/19に更新されています。
- 香川県の調査については、以下のURLから参照してください。

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

【参考】栄養塩の単位 : μmol/L = μg・at/L = μM

【今後の予定】

- 令和2年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
- 次回は令和元年12月4日頃に発行する予定です。
- ※この情報は、水産技術センターホームページ(<http://www.hyogo-suigi.jp/>)でもご覧いただけます。